



▲ 盆踊りで会場を沸かせます

## 夏の夜を満喫！

### ～第19回あすわ苑夏祭り～

8月3日（日）特別養護老人ホーム「あすわ苑」で夏祭りが開催され、入所者やその家族など約500人が参加しました。

夏祭りは牧小学校6年生児童による勇壮な太鼓の披露で幕を開け、盆踊りやロックソーランが始まると会場内は自然と1つになり盛り上がっていました。

また、子どもたちを対象とした「かき氷早食い競争」が行われ、参加者は歓声を上げながら、かき氷を夢中で頬張り、夏の暑さを吹き飛ばしていました。

会場内には、中学生ボランティアによるバザーコーナーもあり、大いに賑わいを見せ、訪れた方々のお腹をいっぱいにしていました。



▲ 黄金に輝く主本尊（左）・千日参りで幸せ祈願（右）

## 伝承する恋物語の主本尊御開帳

### ～町屋観音堂 千日参り～

8月10日（日）西結の町屋観音堂で本尊の十一面観音像が御開帳され、観音像の頂にある一寸八分（約6センチメートル）の黄金の主本尊がお目見えしました。

この主本尊は、照手姫が想いを寄せていた小栗判官との再会を願い奉納した守り本尊で、その物語は「照手姫伝説」として語り継がれています。

また、町屋観音堂の再建20周年を記念して「大提灯」の除幕式が行われ、訪れた方々は新しい提灯に灯された明かりをじっと見つめていました。

その後、町屋公会堂に場所を移して、紙芝居『てるてる物語』の読み聞かせやオカリナ演奏があり、訪れた方々は語り継がれる歴史や心癒される音色に耳を傾けました。

## 就労支援に役立てて

### ～収益金を寄付 連合岐阜西濃地域協議会～

8月8日（金）西濃地域の企業と労働組合役員らでつくられる連合岐阜西濃地域協議会の堀哲也議長らが役場を訪れ、社会就労センターひかりの里の就労支援に役立ててもらおうとバザー収益金の一部5万円を堀町長に手渡しました。

同協議会は、4月に大垣市内で開催された西濃地区中央メーデーで行ったバザーやイベントコーナーの収益金を寄せられました。

寄附金を受けて堀町長は「温かいお気持ちをありがとうございます。就労支援活動に努め、大切に使用させていただきます。」とお礼を述べました。



▲ 堀町長に寄附金を手渡す堀哲也議長（左）